



たけたん すまいるブリッジ プロジェクト

竹田市架け橋プログラム推進事業

令和4年度～令和6年度 文部科学省委託
幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業に係る
竹田市「幼保小の円滑な接続」推進プログラム（幼保小の架け橋プログラム）報告書

令和7年1月 竹田市教育委員会

はじめに

竹田市の施策の目玉のひとつは、子育て支援拡充の実施と生み育てる環境の充実です。少子高齢化の中、子どもの健やかな成長に最適な環境を物心両面からサポートし、子育てしやすく、子どもがすくすくと育っていくことを目標としています。

日本の教育においては、伝統的文化として4月の一斉型入学システムのため、幼稚園・保育所・こども園等が小学校という一つの教育施設に集約することによって、学習環境に大きな変化が生じます。個別最適な学びをめざすために学習指導要領で定められた授業に切り替えていくには、多くの困難や混乱が伴うことが考えられます。この時期に相応しい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人ひとりの多様性に配慮した上で、子どもの発達等の違いを理解し、その対応を丁寧に行う必要があります。

この生涯に亘る学びや生活の基盤を創る重要な時期に、幼保小の教職員が情報を共有し、協働して学びを深める取組を進めることによって、子どもに関わる大人が立場の違いを超えて連携・協働し、架け橋期に相応しいカリキュラムを策定し、改善していくことを目指してきました。

これまで、幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業に真摯に取り組んでこられた教職員の皆様、ご指導いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。子どもの成長に携わる者として、本研究は大変ありがたいことであり、引き続き子どもの目標と大人の目標を確実に達成することを目指すと共に、今後この取組がさらに広がり、持続していくための指針となることを願っています。

令和7年1月

竹田市教育委員会

教育長 志賀 哲哉

目次

はじめに

1. 研究概要（研究の経過および組織）	2
2. 竹田市架け橋期のカリキュラム（南部幼小・丸らん）	3
3. カリキュラム実施に向けて	5
（1）作成の視点	
（2）実施に向けて	
（3）見直しの視点	
4. 年間指導計画	13
（1）年間指導計画（南部幼・南部小）	
（2）スタートカリキュラム（南部小）	
5. 幼保こ小合同研修会	17
○保育・授業参観シート	
○グループワークシート	
○研修会の様子および参加者感想	
6. 遊びや学びのプロセス	21
（1）幼：かえるごっこ	
（2）幼：しゃぼん玉あそび	
（3）幼：秋のお店屋さんごっこ	
（4）幼：南幼ソーランをしよう	
（5）小：わくわくどきどきしょうがっこう	
（6）小：きれいにさいてね わたしのはな	
（7）小：きせつとなかよし あき	
7. 幼小連携・交流活動	35
○幼小交流の計画	
○実践例	
○交流活動の様子	
8. 地域・家庭との連携	41
○学びのつながりシート	
おわりに（カリキュラム開発会議委員の声）	43

1. 研究概要

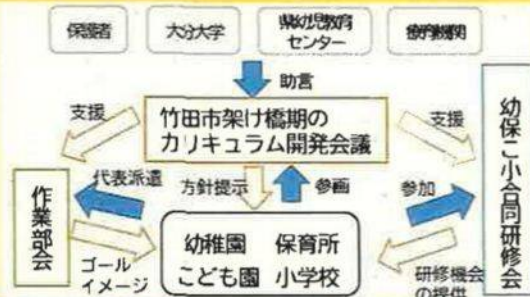
竹田市「幼保小の円滑な接続」推進事業（幼保小の架け橋プログラム）

【幼保小の円滑な連携の必要性】

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が策定されたが、具体的なカリキュラムの工夫や教育方法の改善あるいは幼保小の連携の手がかりとして十分機能していない。
- スタートカリキュラムとアプローチカリキュラムがバラバラに策定され、理念が共通していない。連携が行事の交流等にとどまっている。

【文科省「幼保小の架け橋プログラム」への参加】

- R3年度「公立小学校教諭等幼児教育施設派遣研修」の成果の活用
- 竹田市架け橋期のカリキュラム開発会議の設置
(教職員 有識者 保護者 市関係者等で構成)
- 共有された理念による架け橋期のカリキュラム等の作成
- 連携の充実（幼保こ小合同研修会 子どもの交流等）



たけたんスマイルブリッジプロジェクト
こども家庭センターと学校教育課の協働による架け橋期の子どもの発達支援事業

事業推進のイメージ	1年目（令和4年度）		2年目（令和5年度）	3年目（令和6年度）
	フェーズ1 基盤づくり	フェーズ2 検討・開発	フェーズ3 実施・検証	フェーズ4 改善・発展サイクルの定着
カリキュラム 開発会議	準備 * 構成員の選定と目指す方向性の共有 * 地域の実態の把握	検討・開発 * 方針の検討・決定、開発への支援 * 国による架け橋期の教育の質保障の枠組みとの連携開始	実施の検証 * 実施状況の把握・検証と支援 * 国による架け橋期の教育の質保障の枠組みとの連携推進	持続的・発展的な開発会議の運営 方針の改善・発展と支援 * 方針の改善・発展と支援 * 国による架け橋期の教育の質保障の枠組みとの連携強化
園・小学校	接続を見通した教育課程編成・指導計画の作成 * 園・小学校での活動の共有 * 子どもの交流	架け橋期のカリキュラムの検討・開発 * 共通の視点をもとに内容の検討・開発 * 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の共通性の理解 * 子どもの交流の推進	架け橋期のカリキュラムの実施・検証 * 園・小学校において教育課程編成・指導計画作成、実施、検証 * 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の活用 * 子どもの交流の充実	持続的・発展的な架け橋期のカリキュラム * 持続的・発展的な架け橋期のカリキュラム * 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の活用 * 持続的・発展的な子どもの交流実施
市 学校教育課 社会福祉課	各園・小学校での体制 * 連携窓口の明確化 * 自園・自校の先生への意識啓発と参画	幼保小間の体制 * 幼保小の合同会議・研修会の設置 * 相互の教育の内容や方法に関する理解の共有	幼保小の協働実施の体制 * 幼保小の合同会議・研修会の充実 * 相互の教育の内容や方法に関する理解の深化	持続可能な体制 * 幼保小の合同会議の定着（6月・11月） * 相互の教育の内容や方法に関する理解の改善・発展
	連携強化への支援 * 研修の実施（幼保こ小合同研修 先進地視察等） * 関係部局との連携 * 関係機関・関係団体との連携	幼保小の協働実施の支援 * 研修の充実、研修教材の活用 * 実施上のニーズの把握と支援 * 園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネート	幼保小の協働実施の支援 * 研修の充実、研修教材の活用 * 実施上のニーズの把握と支援 * 園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネート	持続的・発展的な取組を支える支援の定着 * 研修の改善・発展、研修教材の改善・発展 * 必要な支援策の改善・発展 * 園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネートの改善・発展

竹田市では「幼保小の架け橋プログラム」の手引きを基に、幼保小の教職員間での対話を重視し、協働して学びを深める取組を実施しています。「合同研修会」と「教育・保育実践の見える化」に注力し、5歳児の保育参観や小学1年生の授業公開、幼児教育理解のワークショップ等を含んだ研修会が行われ、職員間の連携が強化されました。園および小学校関係者双方から、スムーズな接続や教育の質向上の重要性が確認されました。

本資料は、竹田市3年間の取組であり、今後持続して行くための指針として作成しました。

2. 竹田市架け橋期のカリキュラム（南部幼小モデルプラン）

期待する子ども像	竹田市教育ビジョン 主体的に学び未来を創造する子ども ~将来の予測が困難な時代において、情報を活用しながら他者と協力し自ら ◎重点目標：◎情報活用能力 ◎協働的な学び ◎自分の考えを形成する力 ◎主体的に学び続ける意欲										考え表現
	考えをもち表現する子 伝え合い認め										
遊びや学びのプロセス	遊びや生活を通して総合的に学ぶ										<p>○ものや仕組を感じたりする(基礎)</p> <p>○豊かな表現力や表現の技術の基礎</p> <p>○経験や思考などとする判断(基礎)</p> <p>○伝え認め</p> <p>○自分の考えを互いに伝える(基礎)</p> <p>○自ら考へたり考へた表現(基礎)</p> <p>○友だちとの共通の方向性(基礎)</p> <p>○探究心(基礎)</p> <p>○考える(基礎)</p> <p>○想を表現する(基礎)</p> <p>○思いやり(基礎)</p> <p>○自ら考へたり考へた表現(基礎)</p> <p>○友だちとの共通の方向性(基礎)</p> <p>○探究心(基礎)</p> <p>○考える(基礎)</p> <p>○想を表現する(基礎)</p> <p>○思いやり(基礎)</p>
園で展開される主な活動／小学校の生活科を中心とした単元構成	<p>五領域〈健康・人間関係・環境・言葉・表現〉</p> <p>体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに進んで取り組む(戸外で、友だちと一緒にするなど)</p> <p>友だちの話聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協働することを楽しむ(考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、見通しをもつ、折り合いをつける、ルールの共有など)</p> <p>数量や図形、文字などに親しみ、遊びや生活の中で使う楽しさを感じる</p> <p>身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる(世話をする、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど)</p> <p>絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする(絵本、ことばあそびなど)</p> <p>様々な出来事や素材に触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ(歌う、楽器を使う、かく、つくるなど)</p> <p>固定器具や運動遊具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさ味わう 【忍者ごっこ】 ☆健康な心と体 ☆自立心</p> <p>自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ 【シャボン玉あそび】 ☆思考力の芽生え ☆言葉による伝え合い</p> <p>秋の自然物を遊びに取り入れ、友だちと考えを出し合い、工夫したり、協力したりしながら遊びを進め、実現していく楽しさ味わう 【秋のお店屋さんごっこ】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い ☆自然とのかかわり・生命尊重 ※玉来保育園の4歳児との交流</p> <p>共通の目的に向かって友だちと協力して遊びをすすめる中で、文字や数字に興味をもち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ 【お正月のあそび】 ・ゆうびんやさんごっこ ・手作りかるた・すごろく 等 ☆数量・図形、標識や文字などへの関心・感覚 ☆協同性</p> <p>友だちとイメージを共有して一緒に遊ぶ楽しさ味わう 【かえるごっこ】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い</p> <p>友だちとイメージを共有して一緒に作る楽しさ味わう 【みんなの海つくり】 ☆協同性 ☆豊かな感性と表現</p> <p>砂・水・泥の感触や遠くに気づき、試したり、工夫したりしながら、友だちと一緒に遊びを楽しむ 【砂場あそび】 ☆思考力の芽生え ☆協同性</p> <p>友だちと一緒にいろいろな競技をする中で、自分の力を発揮し、友だちと考えを出し合い、工夫したり協力して遊ぶ楽しさ味わう 【運動会ごっこ】 ☆協同性 ☆道徳性・規範意識の芽生え</p> <p>自分らしさを発揮しながら、同じ目的に向かって友だちと協力し、やり遂げた達成感味わう 【表現遊び】 ・リズム・オペレッタ ・合奏・チャレンジあそび 等 ☆豊かな感性と表現 ☆協同性 ☆自立心</p> <p>共通のイメージを実現するために、友だちと考えを出し合い、互いに創意工夫しながら協力して作りあげる楽しさ味わう 【鬼つくり】 ☆思考力の芽生え</p> <p>自分なりのめあてをもち、最後までやり遂げた満足感味わう 【チャレンジあそび】 ・なわとび ・フラフープ ・竹馬 ・こま回し ・固定遊具 ・一輪車 など ☆健康な心と体 ☆自立心</p> <p>動植物に関心をもち、進んで世話をする。(アサガオ、夏野菜、さつまいもなど)(カエル、虫など) ☆自然とのかかわり生命尊重 ☆豊かな感性と表現 ※地域の方との交流：地域の方々とふれあいを楽しむ ☆社会生活とのかかわり</p> <p>【幼小交流活動】 交流する中で小学生に親しみをもち、一緒に活動することを楽しむ</p> <p>【お見知り遠足】 ☆健康な心と体 ☆社会生活とのかかわり (全校児童)</p> <p>【よろしくねの会】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い</p> <p>【みんなでセツアツク作り】 ☆自立心 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い</p> <p>【幼小合同運動会】 ☆健康な心と体 ☆自立心 (全校児童)</p> <p>【秋祭りをしよう】 ☆自然とのかかわり ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い</p> <p>【お楽しみ会をしよう】 ☆健康な心と体 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い (5年生と)</p> <p>【用を作ってあそぼう】 ☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い</p> <p>【学校ついでんなどごっこ】 ☆健康な心と体 ☆自立心 ☆社会生活とのかかわり (5年生と)</p> <p>【 】は遊び・活動例 ☆遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(到達目標ではない)</p>										
指導上の配慮事項	<p>□活動を展開するのにふさわしい環境の構成(遊具・用具・素材の種類、数量、配置等)</p> <p>◇子どもの興味・関心を引き出す導入の工夫</p> <p>◇見通しをもったり、振り返りたりできるように場を設ける</p> <p>◇「どうしたい?」「どうする?」など、子どもの考えを引き出す言葉かけを行う</p> <p>◇自分の思いを伝えたり、友だちの考えを聞いたりする場を設ける</p> <p>◇見守る、一緒に活動する、共感するなど場に応じた言葉かけや援助を行う</p> <p>◇友だちの姿から、良さに気づいたり、刺激し合ったりできるような言葉かけを行う</p>										
幼小の連携	【1学期】幼小交流活動事前・事後の打ち合わせ/互見保育・授業/ 南部幼小合同研修会/小学校授業公開・幼小合同研修会(ブロック)					【2学期】幼小交流活動事前・事後の打ち合わせ/ 南部幼小合同研修会/園公開保育					
家庭や地域との連携	<p>幼児教育と小学校教育のつながりや「架け橋期のカリキュラム」等についての理解の促進(保護者会、入園・入学説明会、学校運営協議会等)</p> <p>幼【遊びや学びのプロセス】【幼小学びのつながりシート】等発行(学期ごとに園保護者・学校・地域の園等へ) 小【架け橋期の取組】【幼小のつながりシート】等発行(学期ごとに園保護者・学校・地域の園等へ)</p> <p>竹田市こども「せいかつTOP10」(幼児版)の活用</p> <p>体力づくりプログラム</p>										

の考えを形成していくとともに主体的に学び続ける子どもを育成する～

合う子 探究心をもち粘り強く取り組む子 小学校1年生

各教科の内容を系統的に学ぶ

人と関わる楽しさを感じ安心感をもって学習に取り組もうと 学校生活になれ、自己を発揮しながらめあて意識をもって取り組む 主体的に自己を発揮しながら、課題の解決に向けて取り組む

国語 算数 音楽 図画工作 体育 道徳 特別活動

生活科

【はじめのいっぽ】④
 【わくわくどきどきしようがっこう】⑤
 ◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容
 (1)学校と生活 (8)生活や出来事の伝え合い
 ☆健康な心と体 ☆社会生活とのかかわり ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い

安心をつくる時間・弾力的な時間の運用
 ⇒生活科を中心とした学習活動
 合科的・関連的学習活動 (例:図の中の太字の教科等)
 ⇒教科等学習活動

【かぞくにここに大きくせん】⑩
 ◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容
 (2)家庭と生活 (8)生活や出来事の伝え合い (9)自分の成長
 ☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆健康な心と体 特活

【もうすぐ2年生】⑭
 ◎自分自身の生活や成長に関する内容
 (8)生活や出来事の伝え合い (9)自分の成長
 ☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い
 国語・音楽・道徳

【なかよくなるうね小さなともだち】⑩
 ◎身近な人々、社会および自然とかわる活動に関する内容
 (7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い
 ☆自然とのかかわり生命尊重 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い

【させつとなかよしあき】⑭
 ◎身近な人々、社会および自然とかわる活動に関する内容
 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い
 ☆自然とのかかわり生命尊重 ☆協同性 ☆社会生活とのかかわり

【させつとなかよしふゆ】⑯
 ◎身近な人々、社会および自然とかわる活動に関する内容
 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い
 ☆自然とのかかわり生命尊重 ☆協同性 ☆社会生活とのかかわり

【させつとなかよしはるなつ】⑯
 ◎身近な人々、社会および自然とかわる活動に関する内容
 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い (9)自分の成長
 ☆自然とのかかわり生命尊重 ☆思考力の芽生え ☆豊かな感性と表現

【きれいにさいてね わたしのはな】⑯
 ◎身近な人々、社会および自然とかわる活動に関する内容
 (7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い
 ☆自然とのかかわり生命尊重 ☆思考力の芽生え ☆豊かな感性と表現

【幼小交流活動】交流する中で園児に親しみを持ち、一緒に活動することを楽しむ

【よろしくねの会】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い

【みんなで七夕飾りを作ろう】 ☆自立心 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い

【秋祭りをしよう】 自然とのかかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い

【服を作ってあそぼう】 ☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い

【 】は単元名 ○数字は時間数 ◎・()は内容 ☆は幼児教育からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

□安心して学べる環境構成→見通しをもってできる・視覚的に理解できる・協働的に学べる
 ◇「スタートカリキュラム」の時期は安心して学習がスタートできるように、音楽や読み聞かせ等を1時間目に行う
 ◇関わりを広げる支援→ペア・グループ・学級・学校全体へ ◇体験活動を取り入れる
 ◇課題への出合わせ方、児童の意識の流れ、振り返りを大切にした指導計画
 ◇「園ではどうしてた?」「どう思う?」「どうしたらいいと思う?」など経験の想起・思考を促し、交流し合う言葉かけを行う

わせ/互見保育・授業/・幼小合同研修会(ブロック) 【3学期】幼小交流活動事前・事後の打ち合わせ/子ども理解の会/「架け橋期のカリキュラム」検証会議

協議会、通信、HPなどで) 交流【幼小合同研修会】等についてHPや通信で周知

「南小っ子 生活の約束」「南小っ子 学習の約束」

たけたん体操」の普及)

たけたん体操」の普及)

竹田市架け橋期のカリキュラム（作成の視点）

①②③④は竹田市共通してお

期待する子ども像	竹田市教育ビジョン 主体的に学び未来を創造する子ども像 ◎重点目標：○情報活用能力 ○	① 市町村の教育ビジョンや現在の子どもの姿等から考えをもち表現する子ども 伝え合い認め合
遊びや学びのプロセス	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 遊びや生活を通して総合的に学ぶ ③「架け橋期に期待する子ども像」の育成に向けて、遊びのプロセスをどのように深めていくか	
園で展開される主な活動／小学校の生活科を中心とした単元構成	五領域〈健康・人間関係・環境・言葉・表現〉 体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに進んで取り組む（戸外で、友だちと一緒にするなど） 友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協同することを楽しむ（考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、見通しをもつ、折り合いをつける、ルールの共有など） ④ ②のような姿、資質・能力を育むためには、どのような経験や体験が5歳児に必要なか 身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる（世話をする、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど） 絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする 様々な出来事や素材に触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ（歌う、楽器を使う、かく、つくるなど） 固定器具や運動遊具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう 【忍者ごっこ】 ☆健康な心と体 ☆自立心 自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ 【シャボン玉遊び】 ☆思考力の芽生え ☆言葉による伝え合い 秋の自然物を遊びに取り入れ、友だちと考えを出し合い、工夫したり、協力したりしながら遊びを進め、実現していく楽しさを味わう 【秋のお店屋さんごっこ】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い ☆自然 共通の目的に向かって友だちと協力して遊びをすすめる中で、文字や数字に興味をもち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ 【お正月のあそび】 ・ゆうびんやさんごっこ ・手作りかるた・すごろく ⑤ ④を踏まえ、ねらいに基づいた各園で展開される主な活動（幼小交流活動を含む） *【 】は遊び・活動例 *◇遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（到達目標ではない） 砂・水・泥の感触や道に気づき、試したり、工夫したりしながら、友だちと一緒に遊びを楽しむ 【砂場あそび】 ☆思考力の芽生え ☆協同性 し合い、工夫したり協力して遊ぶ楽しさを味わう 【運動会ごっこ】 ☆協同性 ☆道徳性・規範意識の芽生え わう 【発表会】 ・リズム・オペレッタ ・合奏・チャレンジあそび等 ☆豊かな感性と表現 ☆協同性 ☆自立心 互いに創意工夫しながら協力して作りあげる楽しさを味わう 【鬼つくり】 ☆協同性 ☆思考力の芽生え 動植物に関心をもち、進んで世話をする。（アサガオ、夏野菜、さつまいもなど）（カエル、虫など） ☆自然とのかかわり生命尊重 ☆豊かな感性と表現 ※地域の方との交流：地域の方々とのふれあいを楽しむ ☆社会生活とのかかわり 【幼小交流活動】 交流する中で1年生に親しみをもち、一緒に活動することを楽しむ 【よろしくねの会】 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い 【みんなで七夕飾りを作ろう】 ☆自立心 ☆協同性 ☆言葉による伝え合い 【秋祭りしよう】 ☆自然とのかかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 【風を作ってあそぼう】 ☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い 【 】は遊び・活動例 ☆遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（到達目標ではない）	
指導上の配慮事項 □活動を展開 ◇子どもの興味 ◇見通しをも □環境構成 ◇援助 ◇見守る、一	⑥ 各園での指導上の配慮事項 □環境の構成 ◇保育者の援助等 *日頃の実践をもとに考える	
家庭や地域との連携	⑦ 家庭や地域との連携 ○幼児教育と小学校教育のつながりや「架け橋期カリキュラム」 ○園・小学校で共通して行うこと 等 ○市全体で行う「体力づくりプログラム」（たけたん体操）の普及	

どのような資質・能力を育みたいか、子どもの姿を具体化する

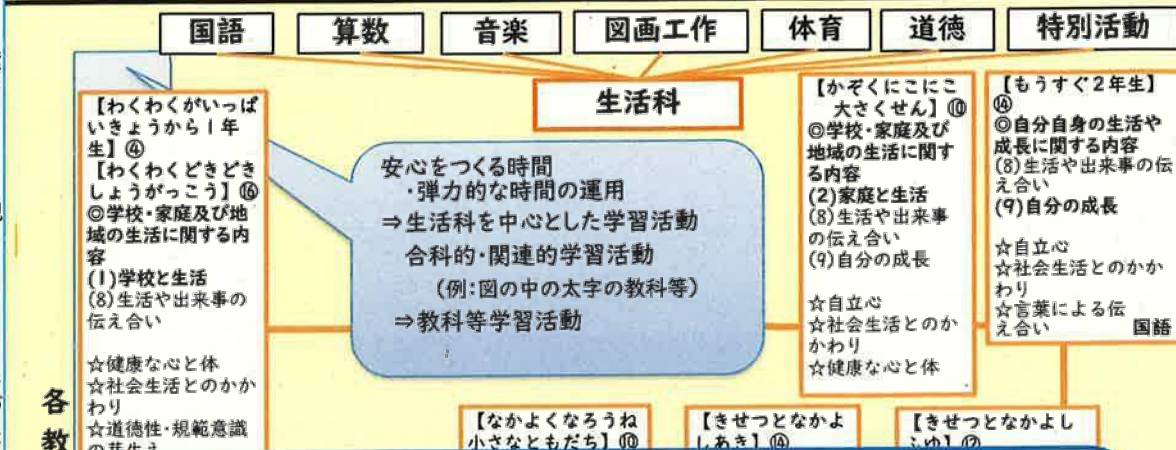
○自分
の
こと
を
た
い
さ
ら
に
進
め
る
学
生
の
姿
を
具
体
化
す
る
○新
生
を
び
ら
を
の
に
学
ぶ

ら設定した「架け橋期に期待する子ども像」を育成する～

う子 探究心をもち粘り強く取り組む子 小学校1年生

②「架け橋期に期待する子ども像」に向けて、幼児期の終わりまでに

③「架け橋期に期待する子ども像」の育成に向けて、学びのプロセスをどのように深めていくか



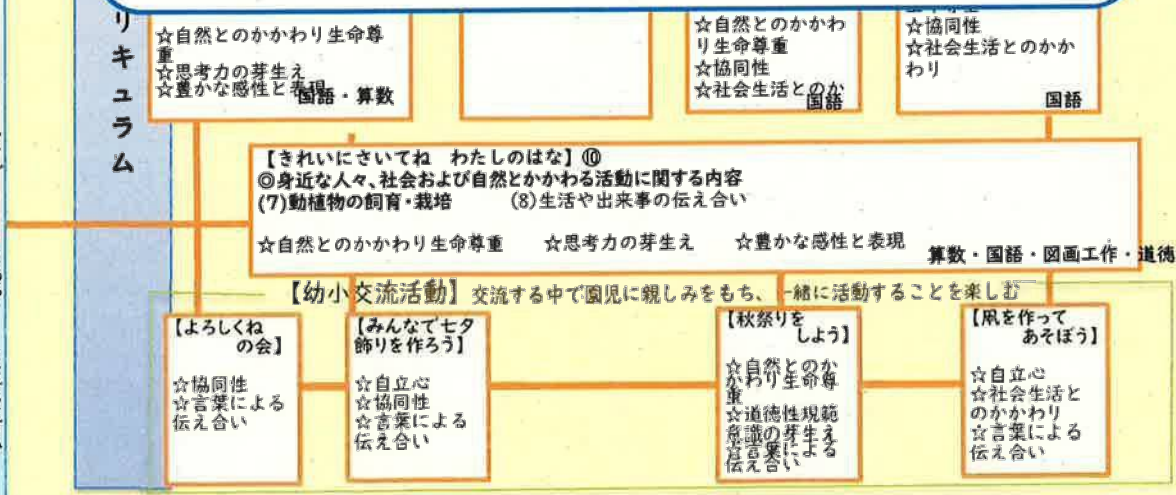
⑤各小学校1年生の生活科を中心とした単元構成 (1年生と交流する場合は幼小交流活動を含む)

*【単元名】 ◎主たる内容・(数字)内容

*☆幼児期からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

*太字の教科名=合科的・関連的指導を行う教科

*「スタートカリキュラム」の位置づけ(実施時期等)



【 】は単元名 ○数字は時間数 ◎・()は内容 ☆は幼児教育からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

⑥ 各小学校での指導上の配慮事項

□環境づくり ◇教師の指導等

*日頃の実践をもとに考える

について、どのように理解を図るか

【竹田市共通】